

大型

えっ！平和の森公園に体育館！

広大な屋外競技場設置で全体の改修も？

区立中野体育館を平和の森公園に移転し大型化、屋外スポーツ施設の導入も検討するという報告が、3月9日、中野区から区議会に示されました。

報告では「公園全体の改修」も検討するとしており、

樹林を切り倒して体育館に、芝生広場をつぶして大きな球場とトラックにすることが予想されています。

東京オリンピックを口実に、2015年度中に基本計画をまとめるという性急なものです。

散歩を楽しむ人が四季を通して絶えない水辺の森▼



同公園の前身は刑務所でしたが、区民の運動と計画参加で広域避難場所(3.9万人収容)をかねた公園が実現。スポーツ・平和資料室・復元弥生遺跡をともなう森と芝生の公園として、長く区民に親しまれてきました。

▲区内で一番広い芝生広場。子どもから高齢者まで、遊びやスポーツ、憩いの場として利用されています。

現体育館あとへ **まだ使える** 区役所を移転 災害時の広域避難場所を削減

区はこれまで、区立第九中学校跡への区立体育館移転を示した後、現体育館敷地と南側隣接地への区役所移転・新体育館合築の構想に転じていたものです。いずれも、サンプラザ・区役所を解体して敷地を明け渡し、一体で民間の再開発に提

供する計画が前提です。災害時の広域避難場所である公園を大きく削り、区民の命と安全を危険にさらす計画が拙速に進められていいのでしょうか。

まちづくりは区民の合意で

日本共産党

ずっと住み続けるまち。計画は区民とともにじっくり検討して欲しい—これがみなさんの声ではないでしょうか。

現区政はあまりにも強引です。警察大学校等跡地(区役所西側の現・四季の森公園周辺地域)でも、区民参加でつくった計画をくつがえし緑の防災公園を半分に削減しています。

推進してきた自民・公明両党に加え与党入りした民主党など「オール与党」の責任が問われます。

計画への区民参加を保障し、区民の声に誠実に耳を傾け、区民とともに計画を練り上げる—そうしたまちづくりに転換させるため力をつくします。



ご意見・ご要望などお寄せください。

子どもから高齢者まで
区民施策けずって
中野区が貯め込んだ

511億円

「戦争する国づくり」、消費増税、社会保障や労働法制の大改悪など、暴走する安倍政権。今こそ身近な区政が、くらしの防波堤の役目を果たすべきときです。

ところが中野区は、区民の施策を削って税金を貯め込み、一方では、耐震強度のある区役所・サンプラザを解体し、敷地を民間に放出して大型開発を加速しようとしています。

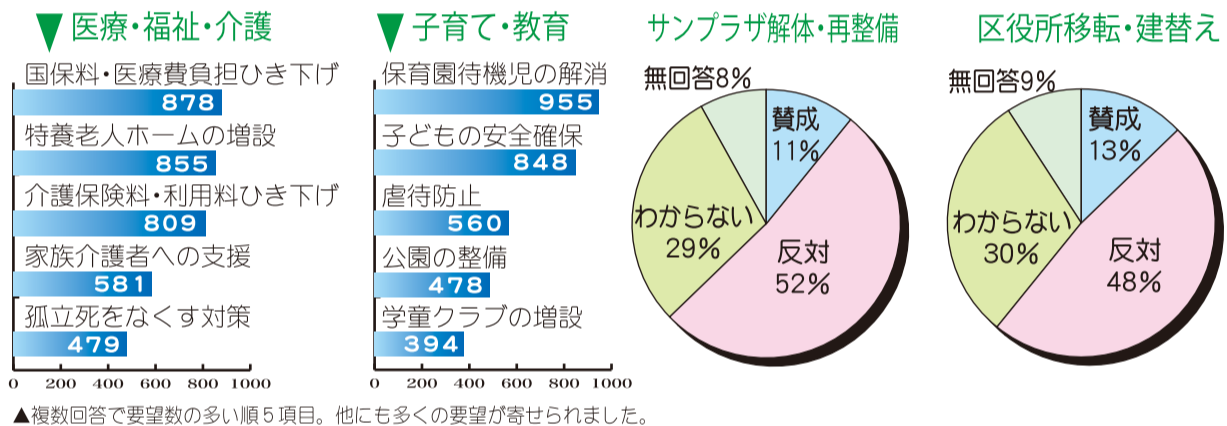
大型開発・ためこみ偏重やめ
区民の願い第1に

日本共産党が予算組みかえ提案

2015年度の予算は史上最大1327億円。区は当初から123億円の基金を積み増し、大型開発を優先。増え続ける国民健康保険・介護保険料などの区民負担を軽減する配慮

は見られません。自民・公明・民主などは、この予算案に賛成。共産党は議会で、ためこみ・大型開発偏重から、暮らし・福祉・教育重点への転換を提案しました。

●区民の願いは…(共産党区議団が2014年度実施した『区民アンケート』より) ※アンケートには、1914通の回答が寄せられました。



福祉・くらしの
応援に活用を

511億円の一部を使うだけで 認可保育園や特養老人ホームの増設など 多くの願いが実現できます

区民の健康と障害者支援

- 高すぎる国保料の引き下げ
- 介護保険料・利用料の軽減
- がん検診の無料化と検診項目の拡充
- 障害者福祉手当(第2種)の増額

子育て・教育への支援

- 保育料の軽減
- 小中学校給食費の無料化
- 小中学校の施設・設備の改修

便利で安全なまちづくり

- 住宅の耐震補強工事助成
- 交通不便地域の解消、コミュニティバスの復活・拡充。バリアフリーのまち
- 家庭ごみ有料化でなく、リサイクルの徹底

高齢者への支援

- 老人保健施設の増設
- 後期高齢者医療保険料の引き下げ
- 見守り支援つき公共住宅の整備

中小企業・商店街の活性化

- 公契約条例の制定
- 住宅リフォーム・商店リニューアル助成

就労支援・相談窓口

- ブラック企業・ブラックバイト根絶
- 就労相談・支援の窓口の整備・拡充

憲法・平和の中野

- 平和首長会議への参加
- 憲法擁護・非核都市宣言の具体化

「戦争立法」・消費増税10%・社会保障改悪・原発再稼働の暴走政治に「ストップ」を!